

# 塩尻・朝日3団体 環境保全で表彰

松本の企業が賞創設

総合電気設備工事などを手

掛けるアイネット（松本市）

は16日、環境保全活動で功績のあった団体・個人を顕彰する「しおじり・あさひ環境大賞」（塩尻市、朝日村共催）の第1回表彰式を松本市内のホテルで開いた。最優秀賞には、朝日村民有志でつくる朝



アイネットの中越社長（左）

から表彰状を受け取る朝日

鎖川河川愛護会の田村会長

日鎖川河川愛護会を選び、  
活動支援金20万円を贈った。

同会は2009年に発足。

朝日村に源流があり、松本市内で奈良井川と合流する鎖川の河川敷を年2回清掃している。表彰式で同社の中越慎介社長から表彰状と目録を受け取った田村丈一たけいち会長（76）は「これからも環境に興味を持ち、今まで以上に頑張りたい」と抱負を語った。

優秀賞（活動支援金10万円）には、塩尻市片丘で発見された桜の品種「カタオカザクラ」の保護に取り組む同市片丘小学校、ごみの分別など環境教育を実践する朝日村朝日小学校の2校を選んだ。

大賞はアイネットが昨年、両市村が所有する朝日村小野沢の一般廃棄物最終処分場跡地を借りて太陽光発電施設を建設した縁で、創業70周年を記念して両市村の団体・個人を対象に設けた。売電収入の一部を活動支援金に充てる。